

若年層における育児休業等取得に対する 意識調査（確報値）

若年層全体スコア-全設問スコア掲載資料

厚生労働省イクメンプロジェクト

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare



00 調查概要

調査目的

- 現在の若年層の育休取得や育児に対する意識のリアルを把握し、企業の情報発信の参考にしていただく。
- 各企業で経営者や管理職に意識変革の必要性を伝える材料にしていただく。

調査手法

WEBによる定量調査

対象者条件

全国 18-25歳男女 高校生・大学生などの学生若年層

サンプル数

スクリーニング調査 : 7,840サンプル
本調査 : 2,026サンプル

調査実施

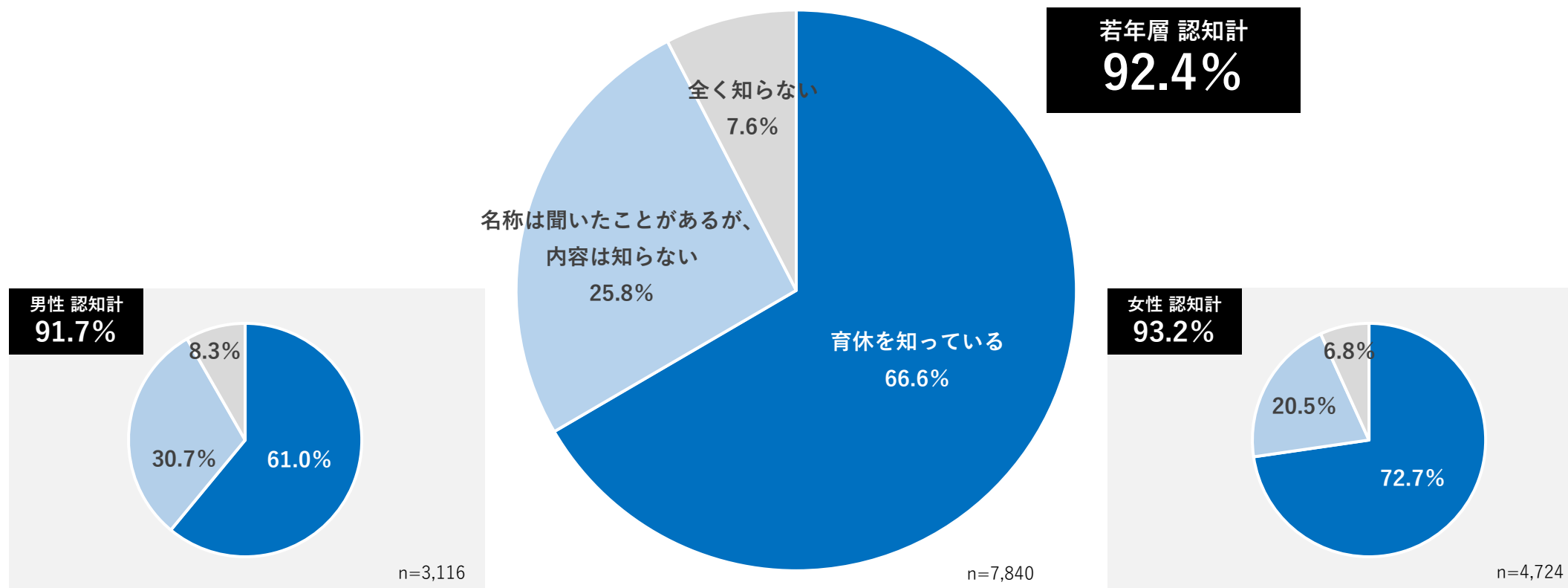
2024年6月22日（土） ～ 2024年6月25日（火）

01 育休取得に対する認識

若年層の**92.4%**が**育休**（育児休業制度）があるということを**認知**している。男性・女性ともに約9割が認知している。

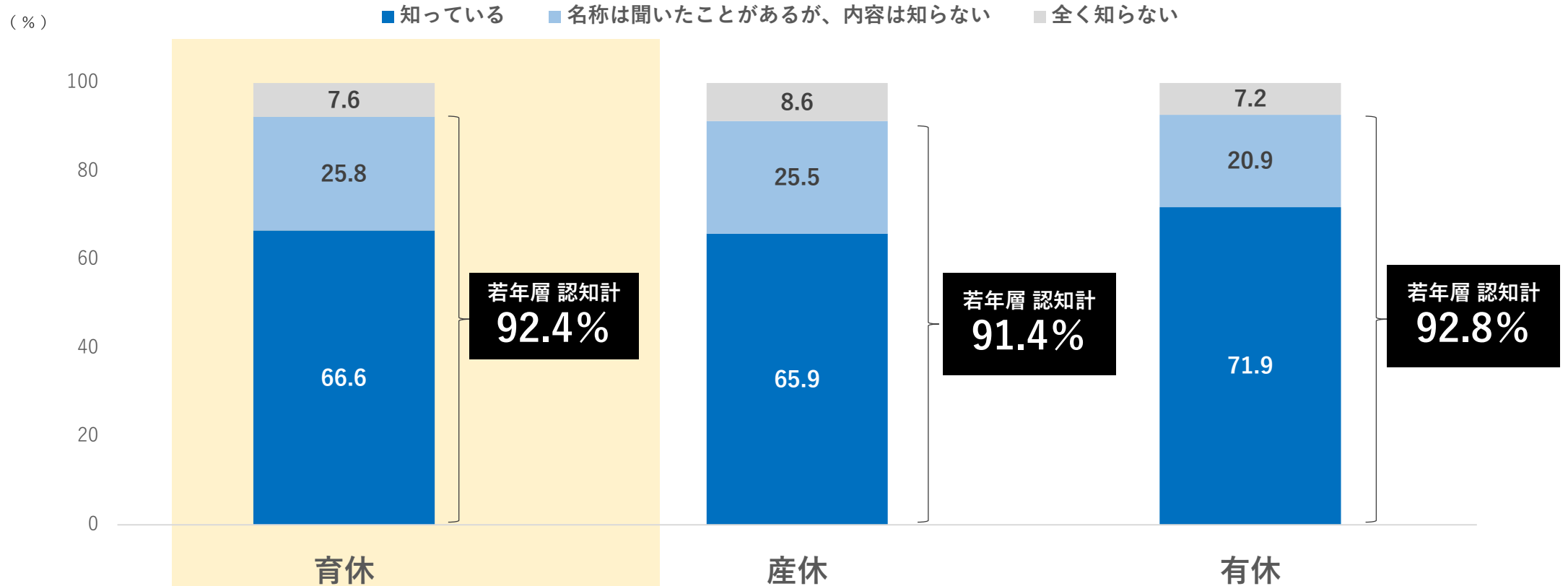
■あなたは、以下のそれぞれのお休みの制度について知っていますか？_育休

■ 知っている ■ 名称は聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 全く知らない



認知度を有休と育休で比較すると、ともに若年層の90%が認知しており、認知度が最も高い有休との差も僅か0.4Ptである。

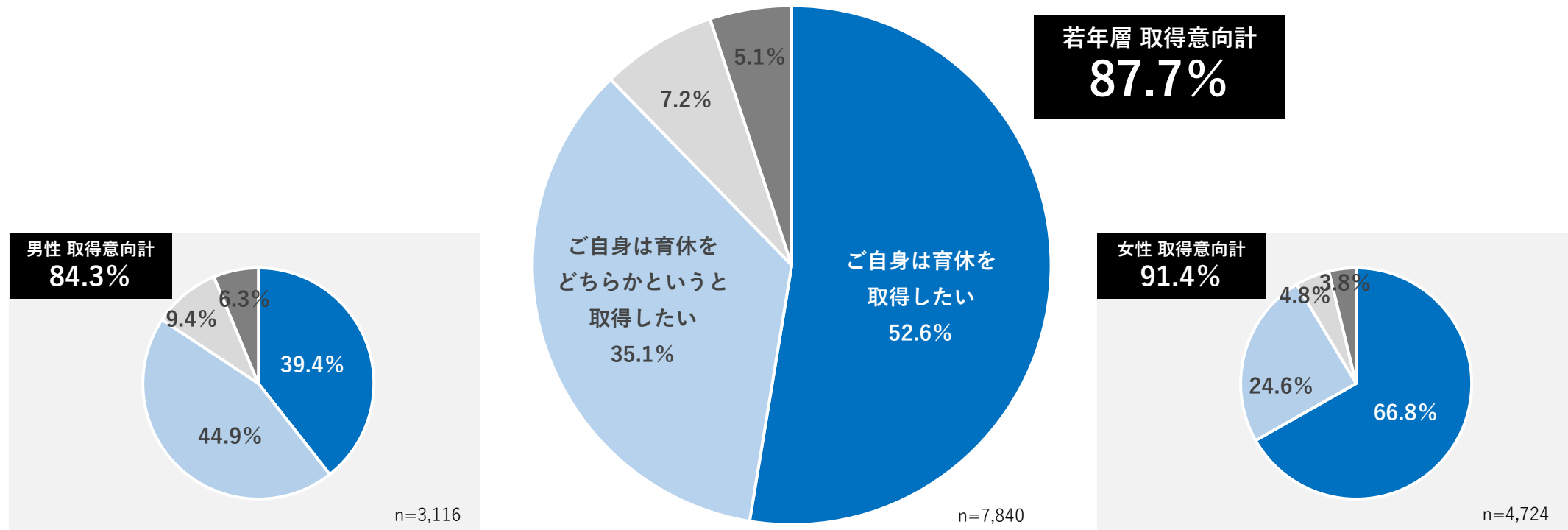
■ あなたは、以下のそれぞれのお休みの制度について知っていますか？



若年層の**87.7%**が育休を取得したい。
男性**84.3%** 女性**91.4%**。

■ あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。

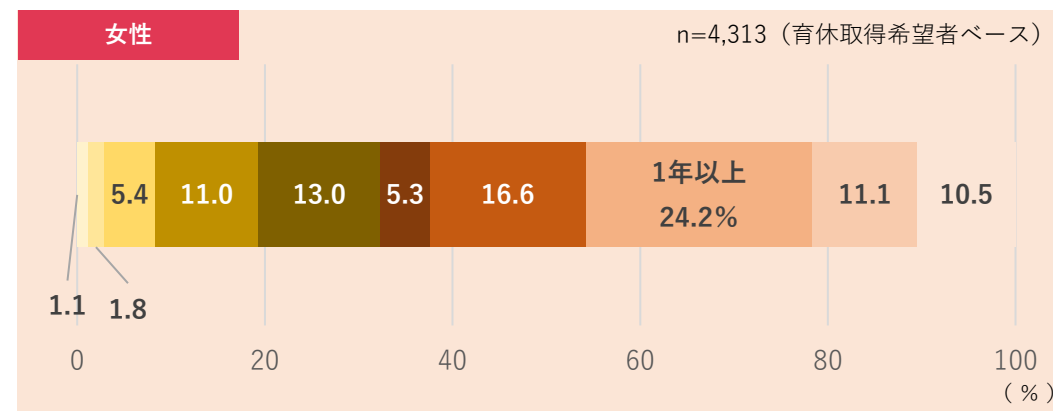
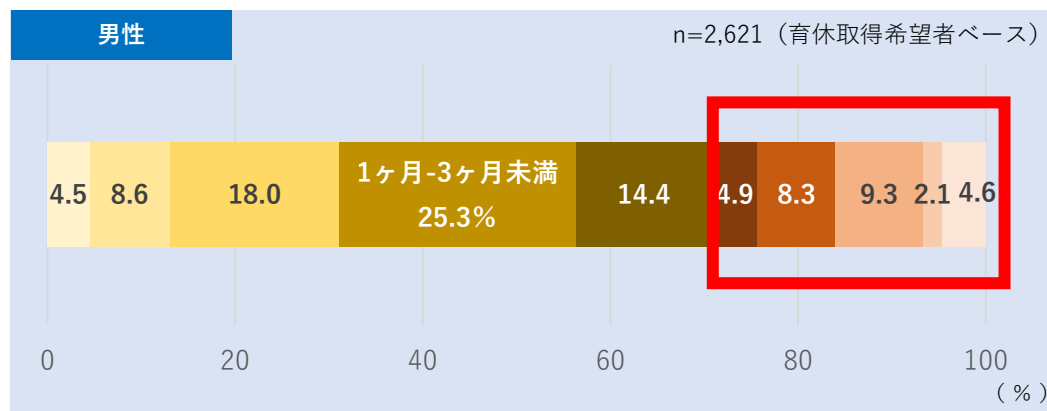
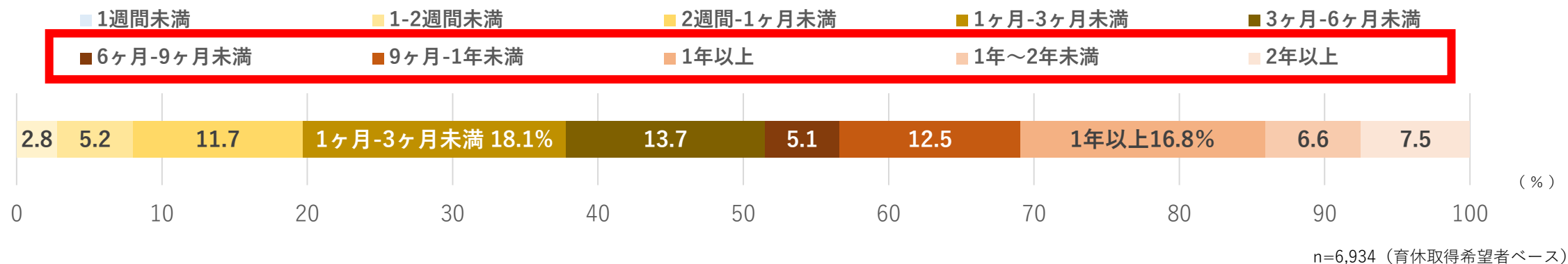
■ 取得したい ■ どちらかという取得したい ■ どちらかという取得したくない ■ 取得したくない



男性の育休取得希望期間

25.3%が1-3ヶ月を選択 **29.2%は半年以上を希望。**

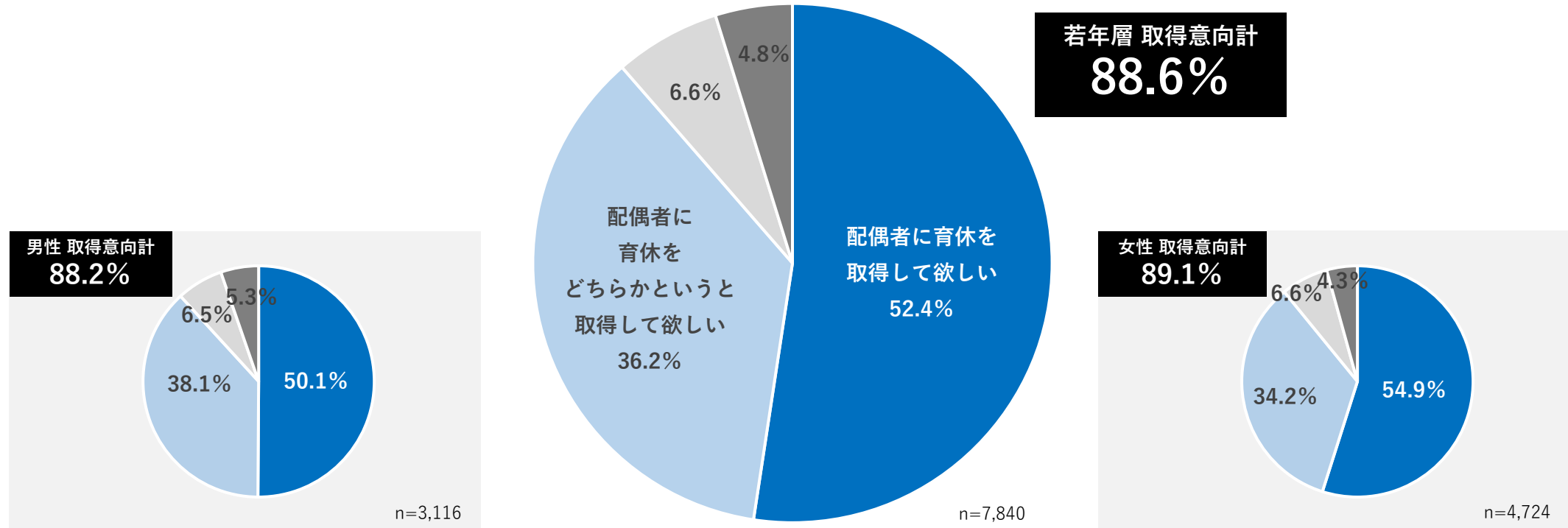
■あなたは、ご自身でどれだけの期間育休を取得したいですか。



男女とも、若年層の **9 割近く（88.6%）** が配偶者にも育休を取得して欲しいと思っている。

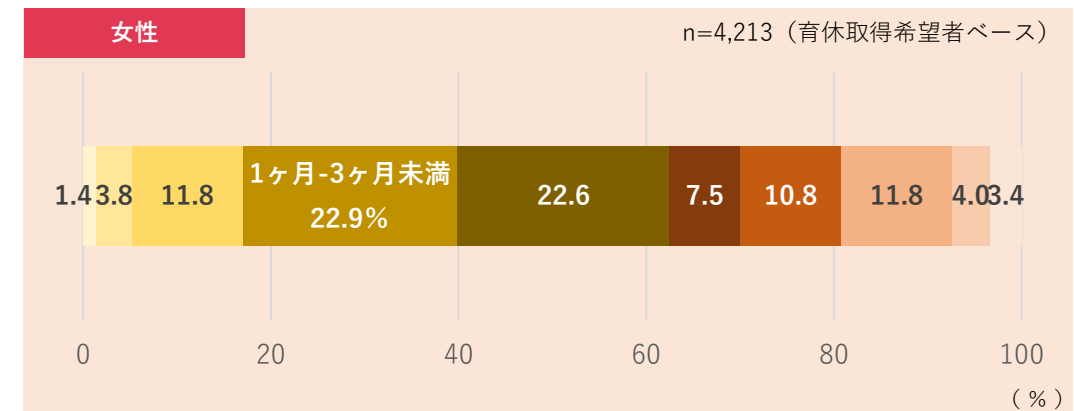
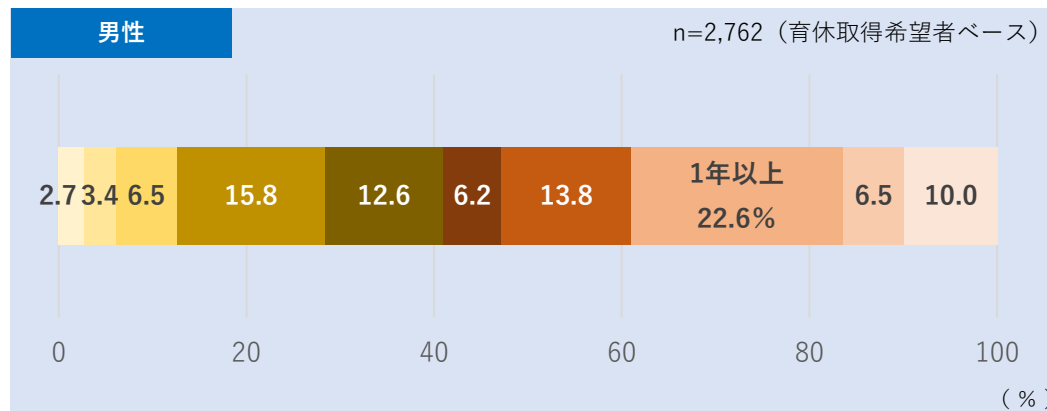
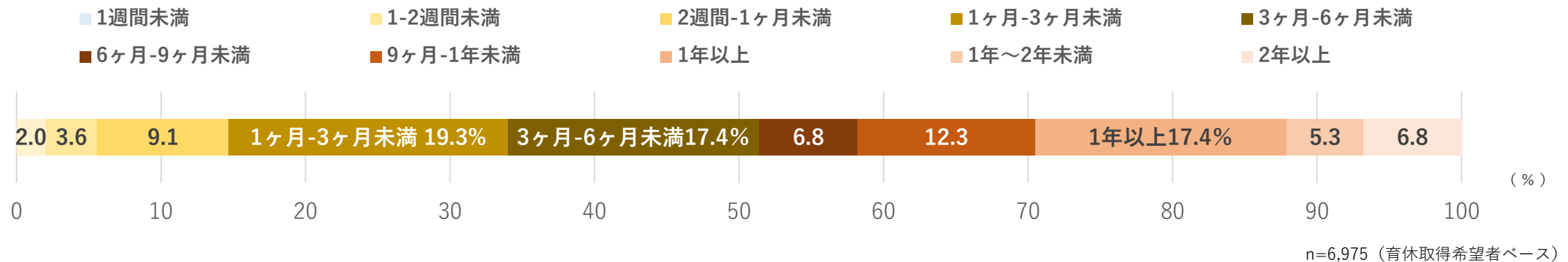
■ あなたは、配偶者に育休をどの程度取得して欲しいと思いますか。

- 取得して欲しい
- どちらかというと取得して欲しい
- どちらかというと取得して欲しくない
- 取得して欲しくない



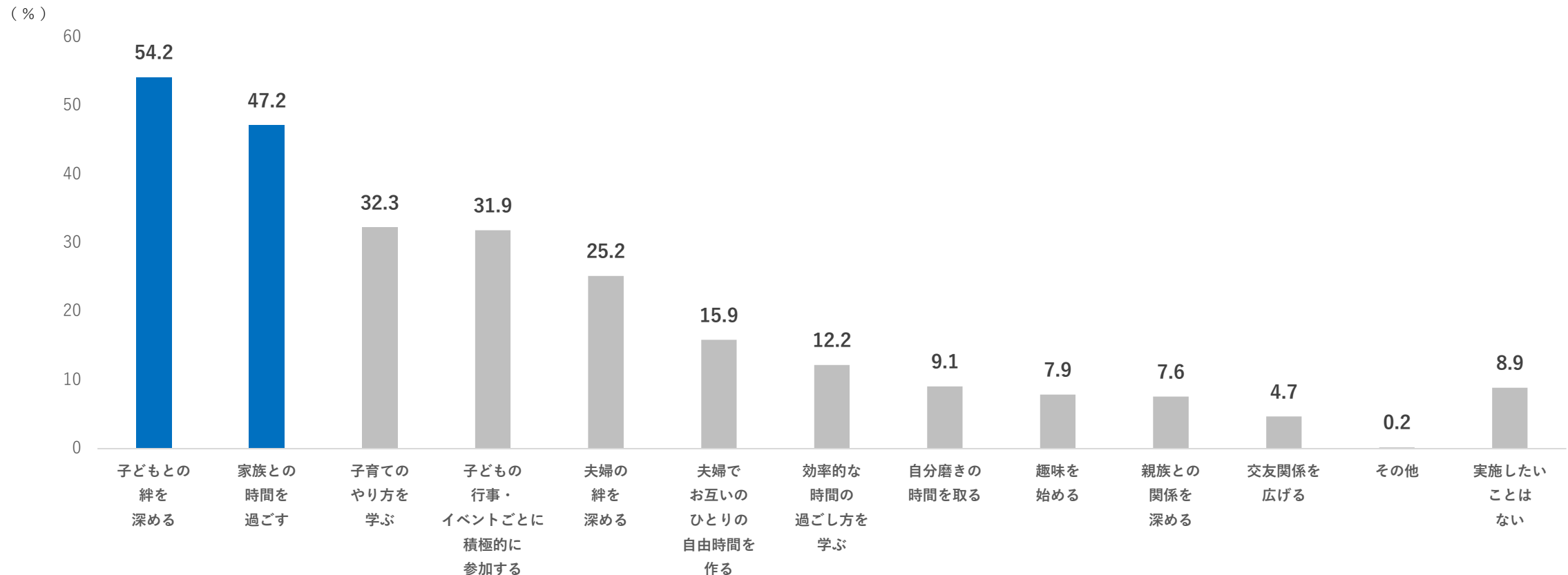
配偶者に取得して欲しい育休期間は、**1-3ヶ月**が最も多い。
男性では女性に1年以上、
女性では男性に1-3ヶ月の希望が最も多い。

■あなたは、配偶者にどれだけの期間育休を取得して欲しいですか。



育休取得期間中にしたいことTOP2は、 子どもとの絆を深めること、家族との時間を過ごすこと。

■ あなたが仮に育休を取得したとします。
あなたは、取得期間中にどのようなことを実施したいですか？



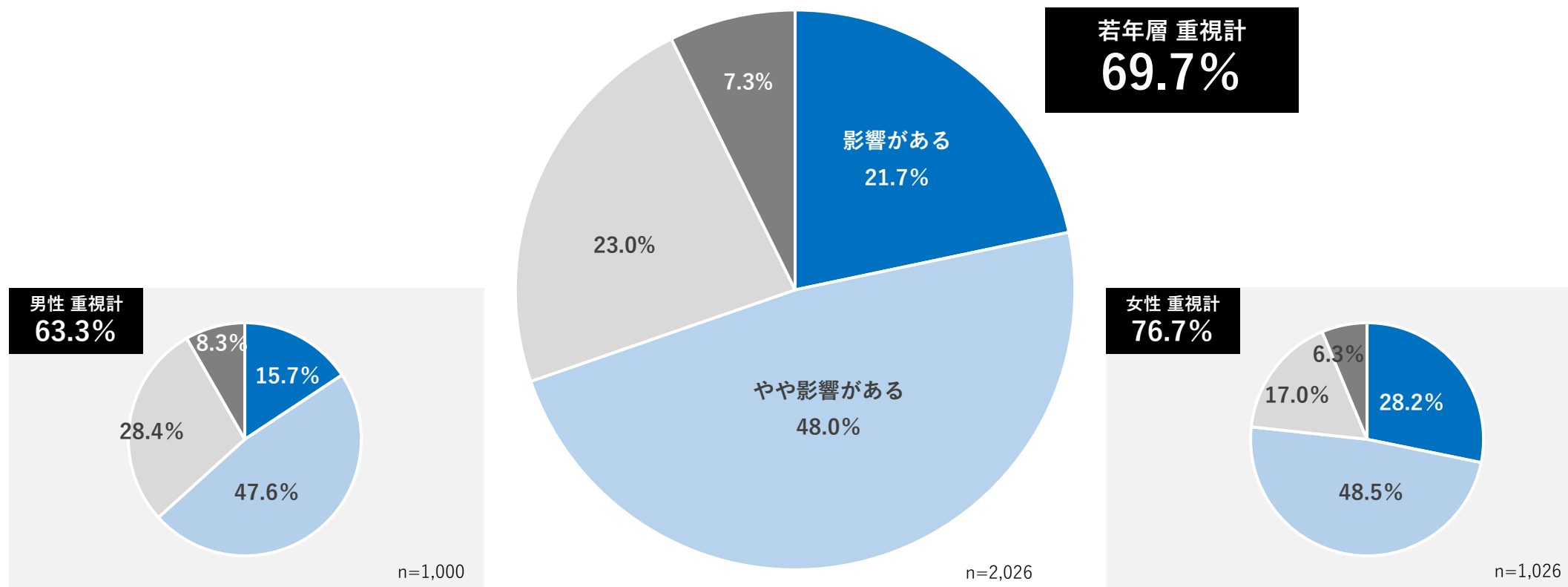
02 育休の就職活動に対する影響

就職活動で企業の育休取得情報を重視 69.7%

女性76.7% 男性63.3%。

■あなたが就職活動をするにあたって、企業の育休の取得状況は、どの程度あなたの企業選定に影響を与えていますか？

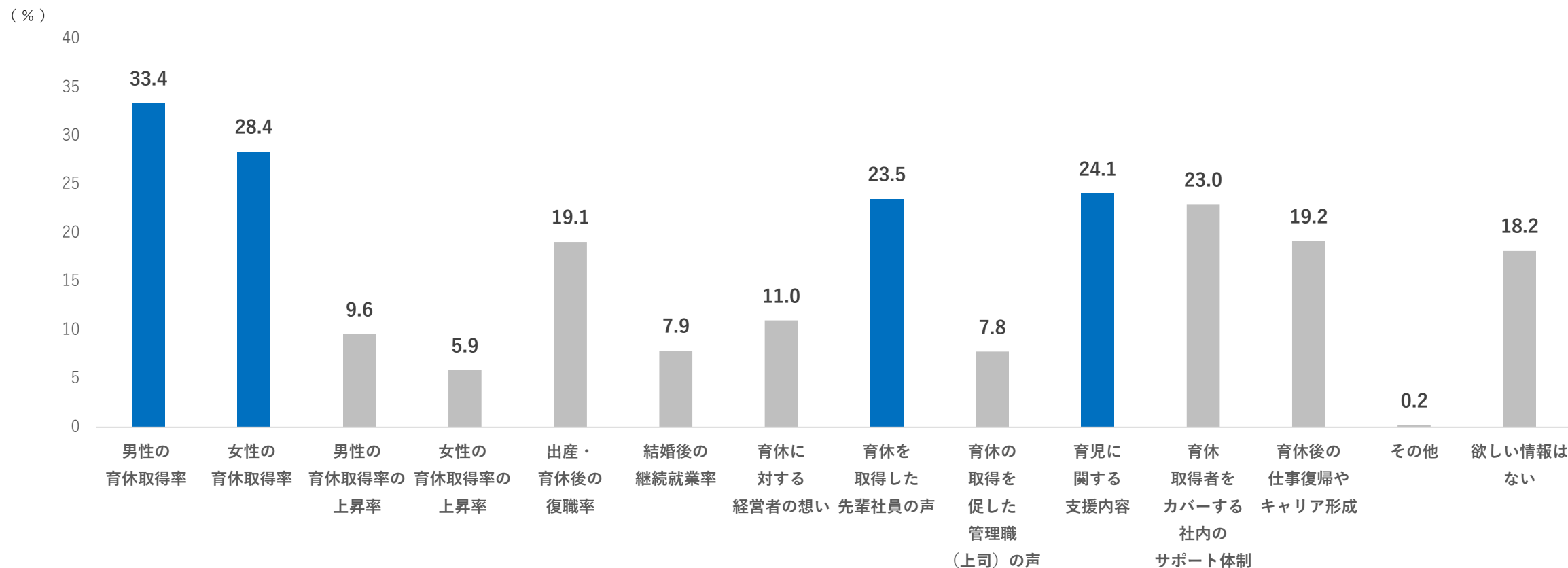
■ 影響がある ■ やや影響がある ■ あまり影響がない ■ 影響がない



就職したい気持ちが高まる情報

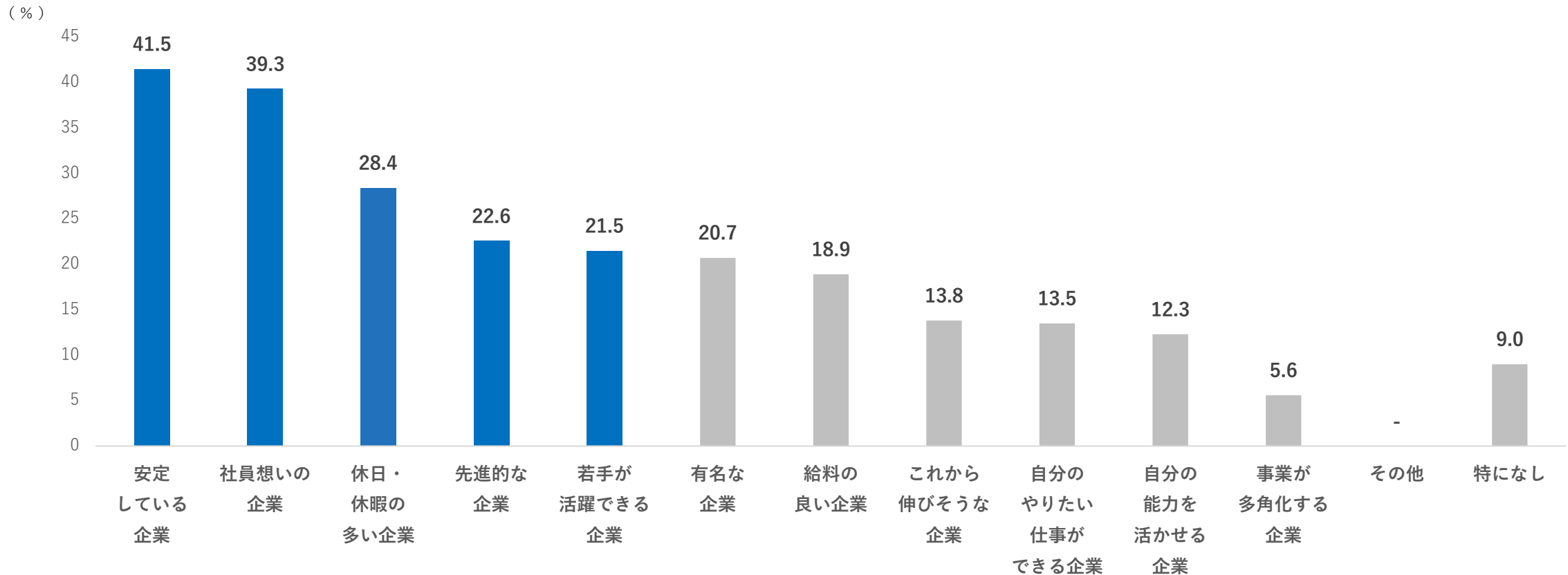
1位は男性の育休取得率。

■ あなたは企業からどのような結婚や出産に関わる情報があると就職したい気持ちが高まりますか？



育休取得率が高い企業は安定している(41.5%)、社員想い(39.3%)、休日・休暇が多い(28.4%)、先進的(22.6%)、若手が活躍できる(21.5%)イメージ。

■ あなたは、育休の取得率が高い企業に対してどのようなイメージを持ちますか？



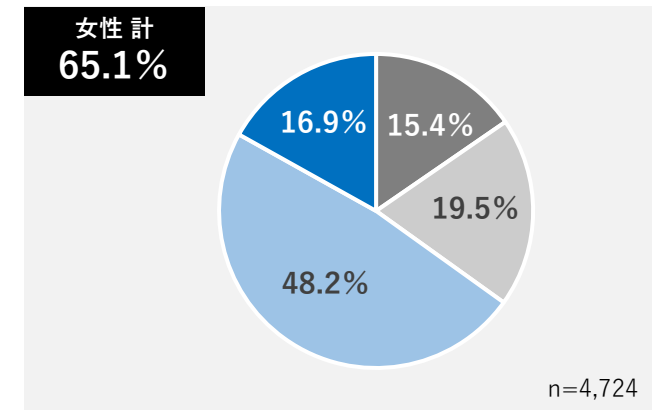
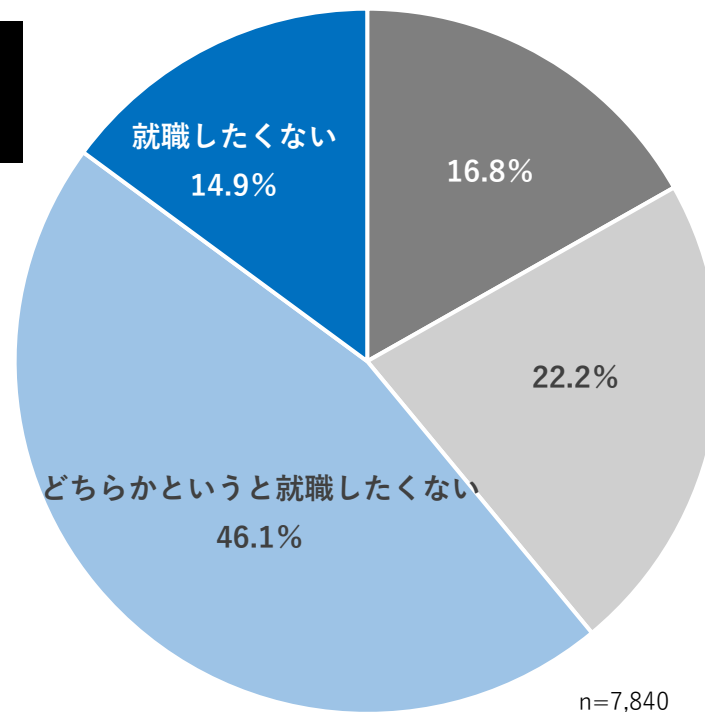
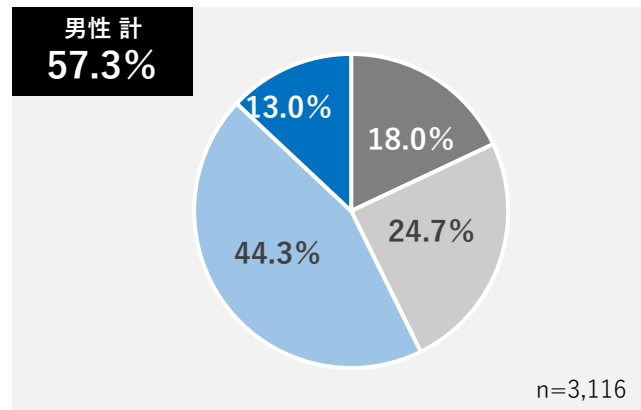
育休取得実績がない企業に就職したくない 61.0%

男性57.3% 女性65.1%。

■ 仮に男性の育休取得の実績がない企業があったとして、
あなたは、その企業に就職したいと思いますか？

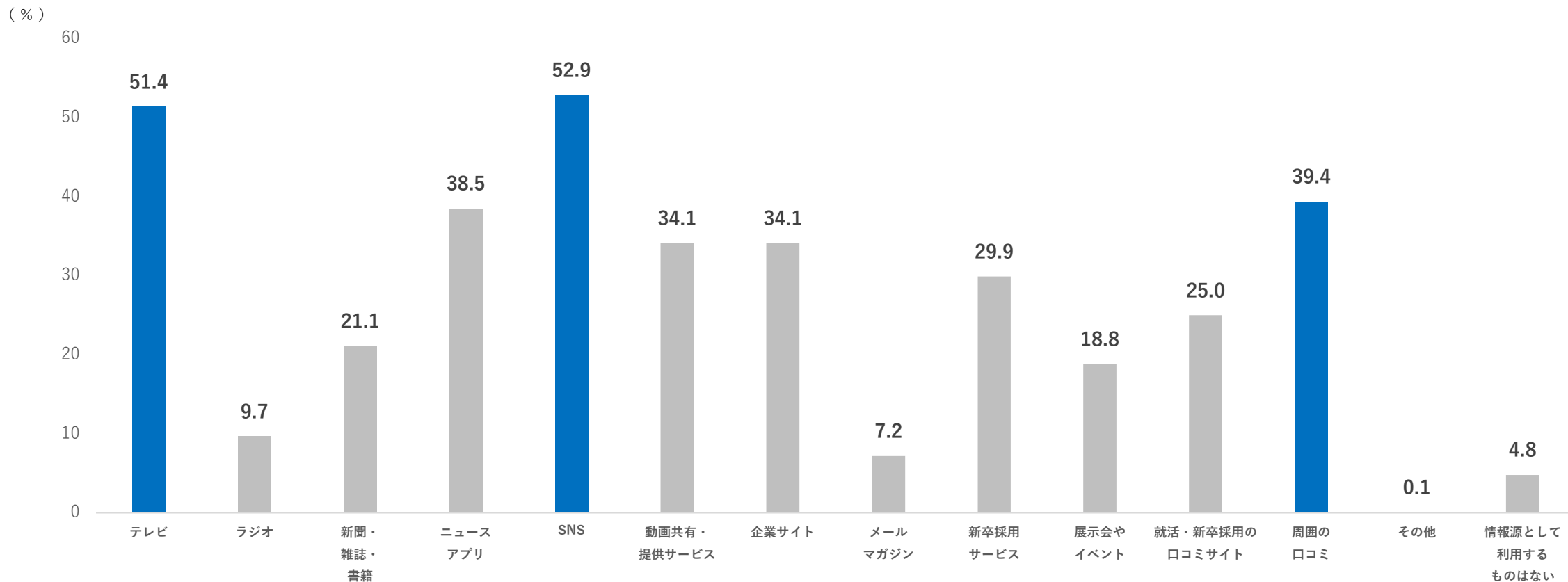
■ 就職したい ■ どちらかという就職したい ■ どちらかという就職したくない ■ 就職したくない

若年層 就職したくない計
61.0%



就職先を決めるにあたっての情報源TOP 3は、SNS、テレビ、周囲の口コミ。

■ あなたが就職先を決めるにあたって、利用している情報源としてあてはまるものはどちらですか？

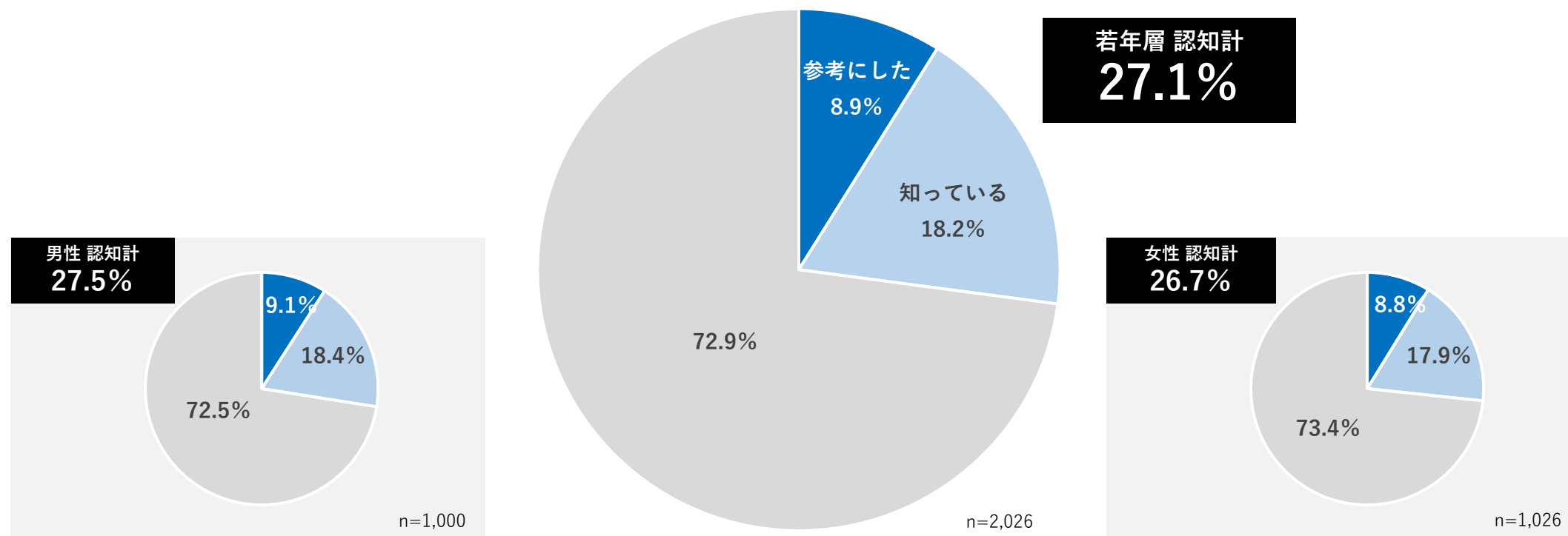


03 くるみん

若年層における「くるみん」の認知率は27.1%、 企業選びの際にくるみん認定取得済みかどうかを 参考にしたと回答したのは8.9%。

■あなたは、企業選びの際に、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定している「くるみん」・「プラチナくるみん」・「トライくるみん」を取得しているかどうかを参考にしていますか？

- 認定マークのある企業を参考にした（している）
- 認定マークを知っているが、参考にまではしなかった（していない）
- 認定マークを知らない

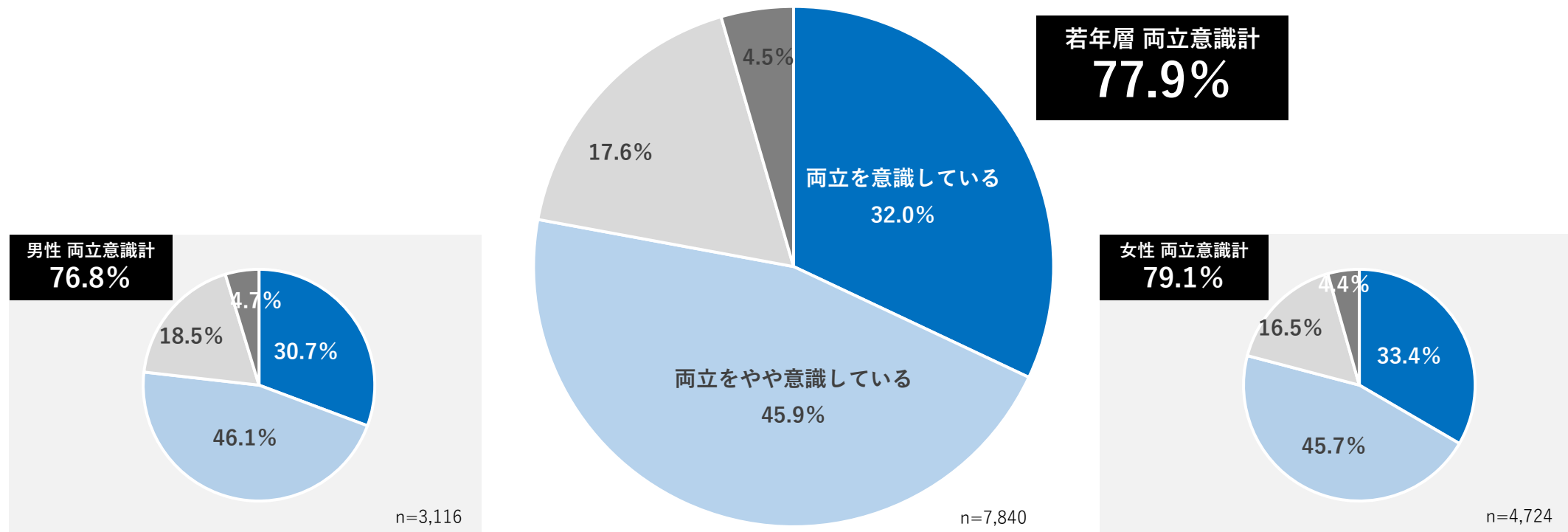


04 ワーク・ライフ・バランス

若年層の**77.9%**が仕事とプライベートの両立を意識。男女に大きな差はなく仕事とプライベートを両立したいという意識が強い。

■あなたは、新卒で入社する会社を選ぶ際に、
将来の仕事（キャリア）とプライベートの両立を意識していますか。

■ とても意識している ■ やや意識している ■ あまり意識していない ■ 全く意識していない

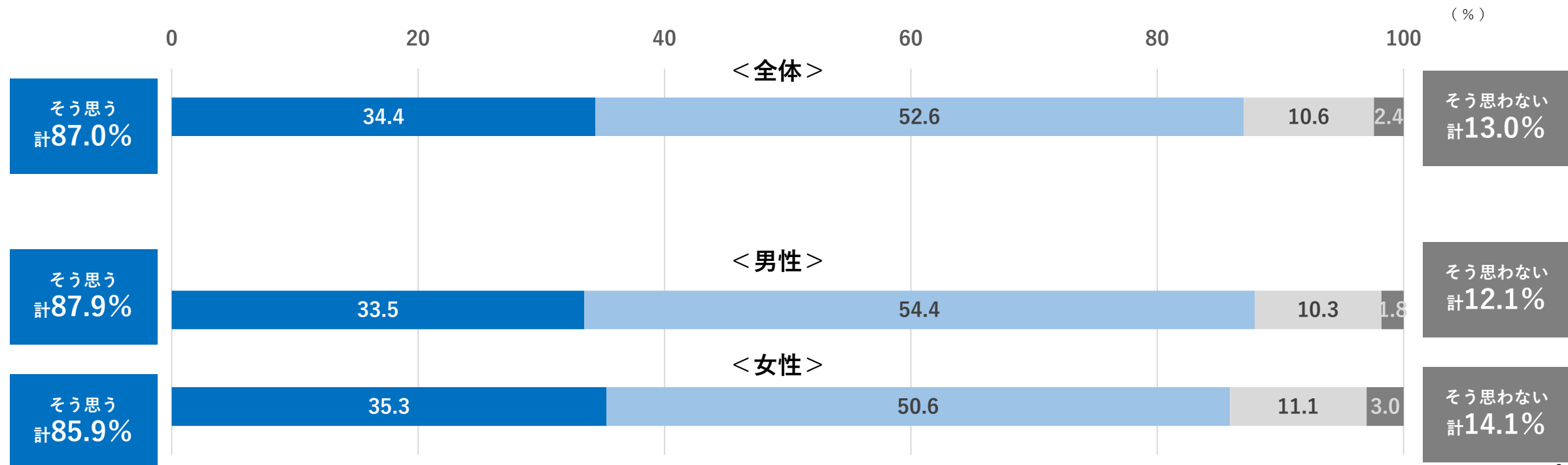


「仕事も育児も熱心に取り組むつもり」 男性87.9% 女性85.9%。

■あなたは、仕事や育児に対しての想いとして、それぞれどのように思いますか？

私は、仕事も育児も熱心に取り組むつもりだ

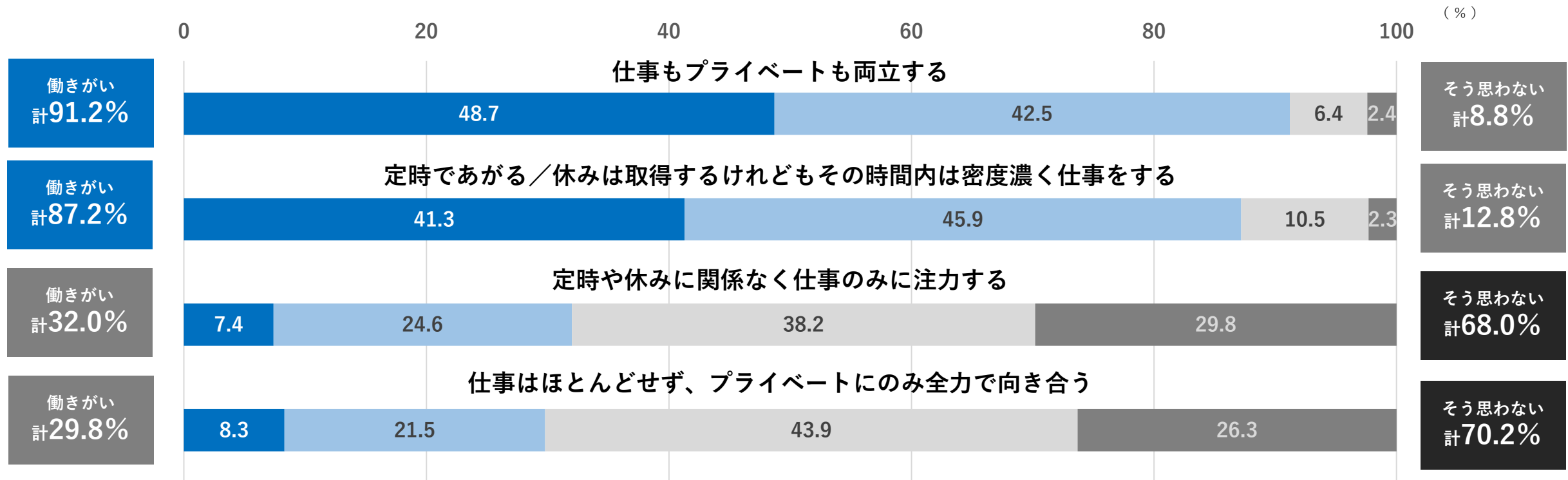
■ そう思う ■ どちらかと言うとそう思う ■ どちらかと言うとそう思わない ■ そう思わない



若年層が働きがいを感じる働き方は 仕事とプライベートの両立、時間内で密度濃く働く。

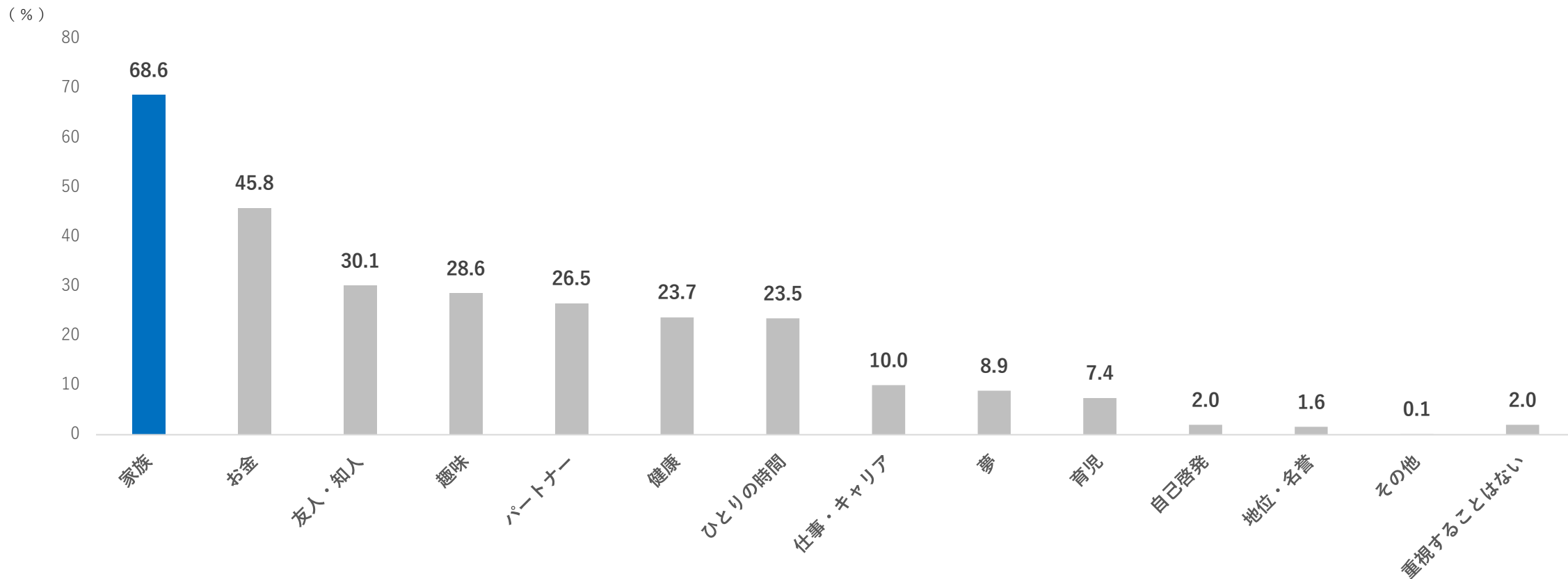
■あなたは、以下の「社会に出た後の働き方」についてどのように感じますか？

■働きがいを感じる ■どちらかと言うと働きがいを感じる ■どちらかと言うと働きがいを感じない ■働きがいを感じない



人生で重視することは、「家族」が68.6%と最も多い。

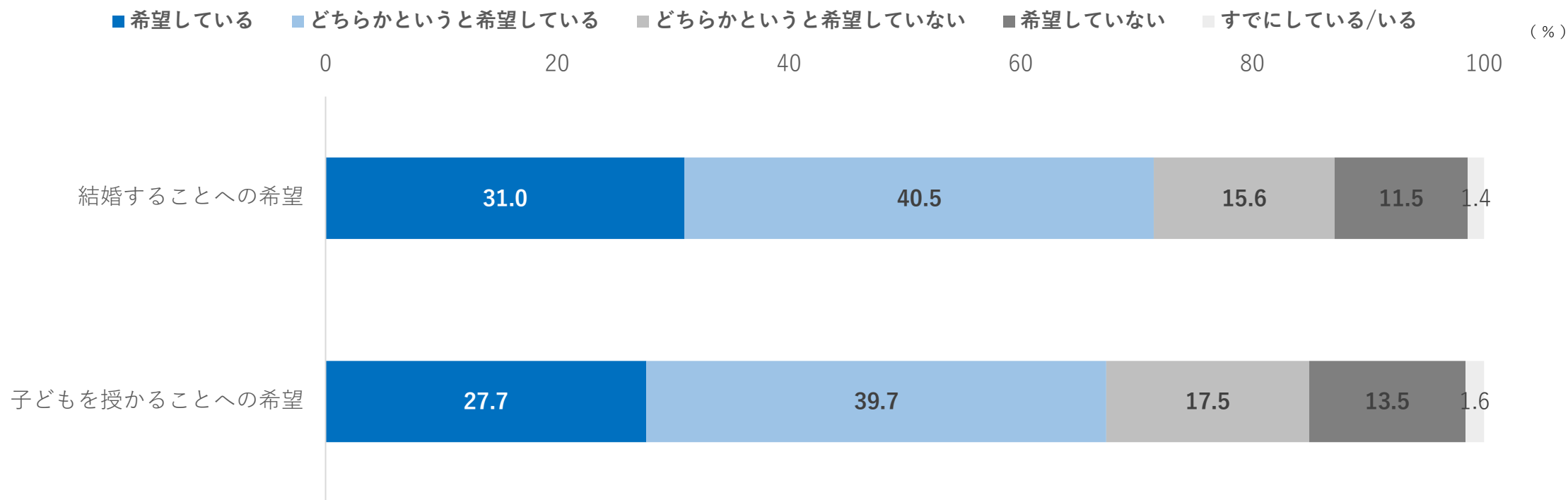
■ 以下の項目について、あなたが重視していることとしてあてはまるものはどちらですか？



05 結婚・子育てに関する意識

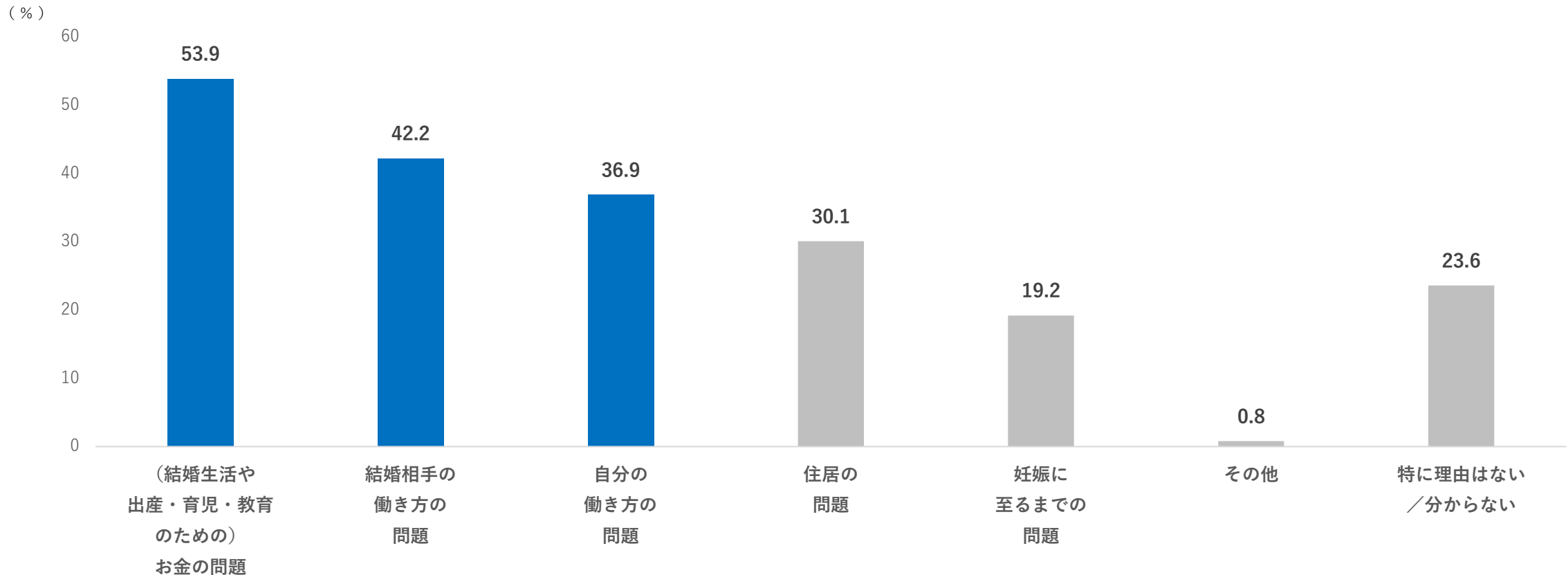
将来結婚したいと考えている若年層は71.5%、
将来子どもが欲しいと考えている若年層は67.4%。

■あなたは、将来結婚したい、または子供が欲しいと思いますか？



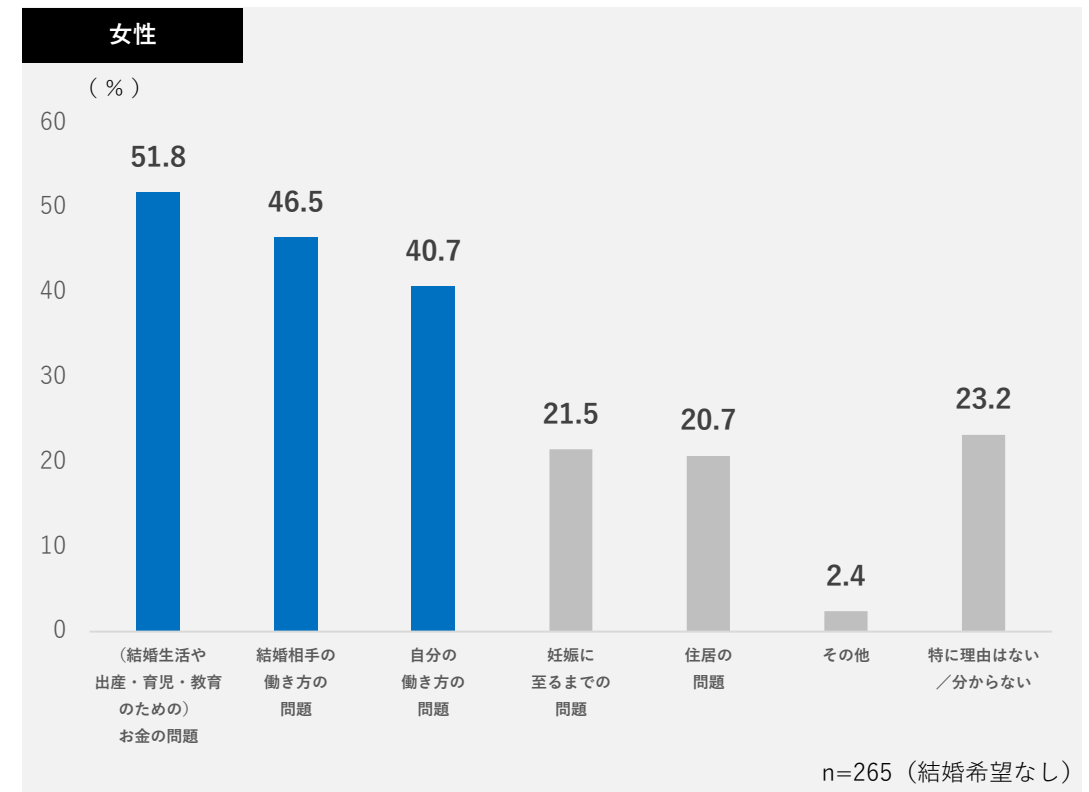
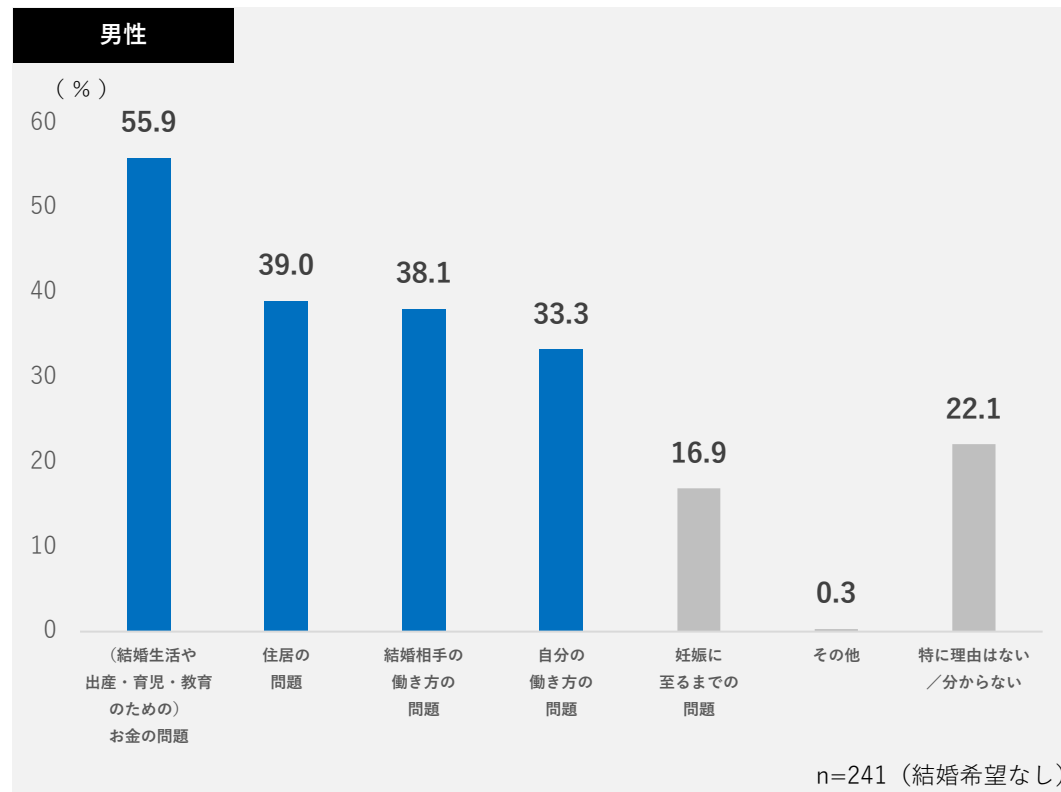
結婚のハードルは、**お金の問題が53.9%**と最も高い。
次いで、**結婚相手の働き方（42.2%）**、**自分の働き方（36.9%）**
の順になっている。

■あなたは、いずれ結婚をするとしたらどのようなハードルがあると思いますか？



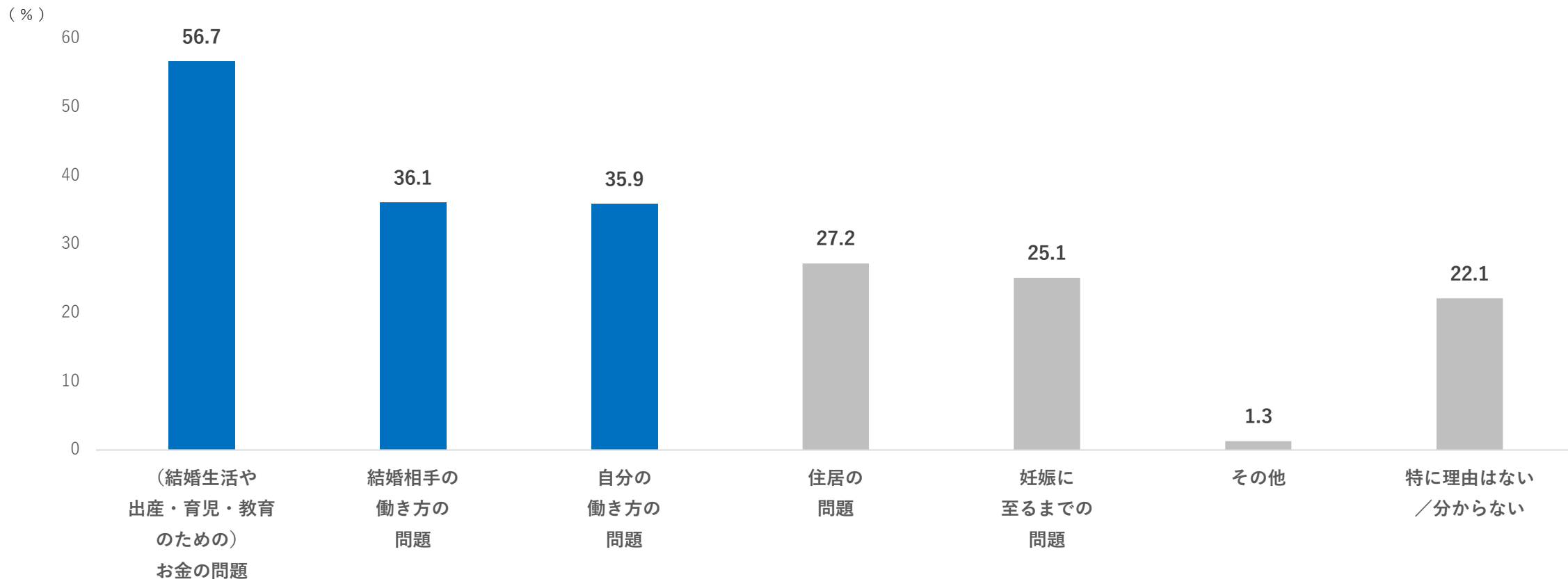
男性、女性ともに結婚のハードルは、お金の問題がもっとも多く、次いで、男性は住居の問題、**女性は結婚相手の働き方の問題**の順になっている。

■あなたは、いずれ結婚をするとしたらどのようなハードルがあると思いますか？



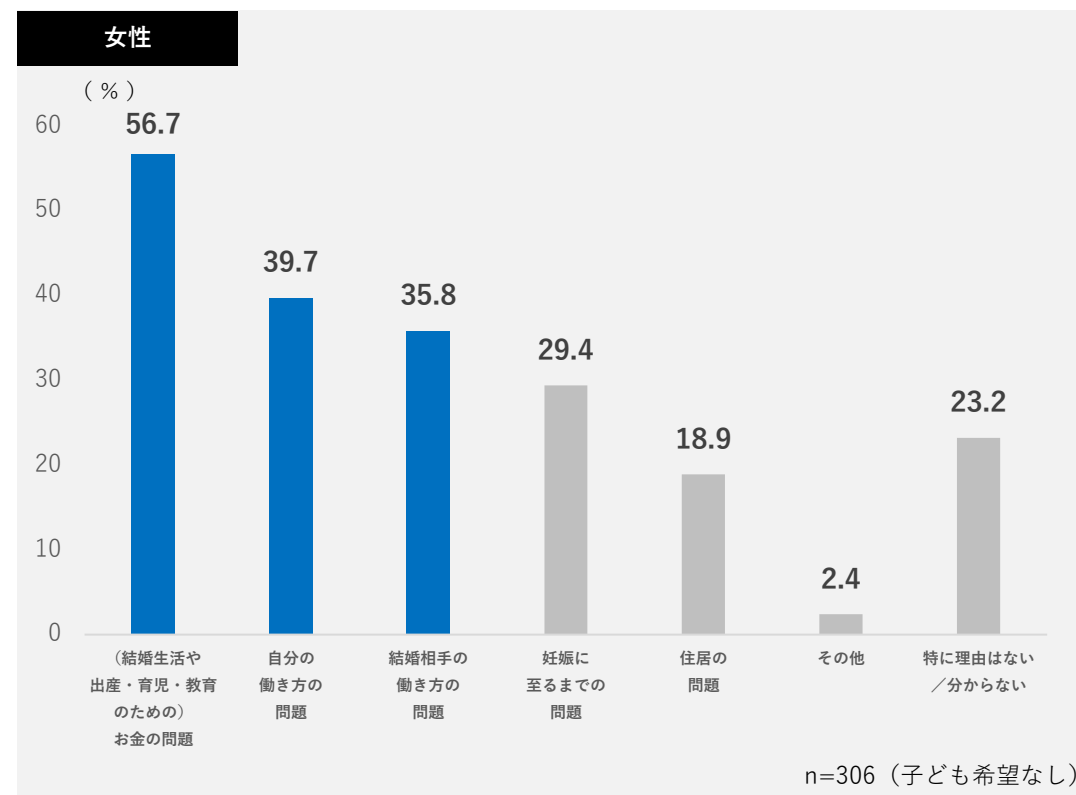
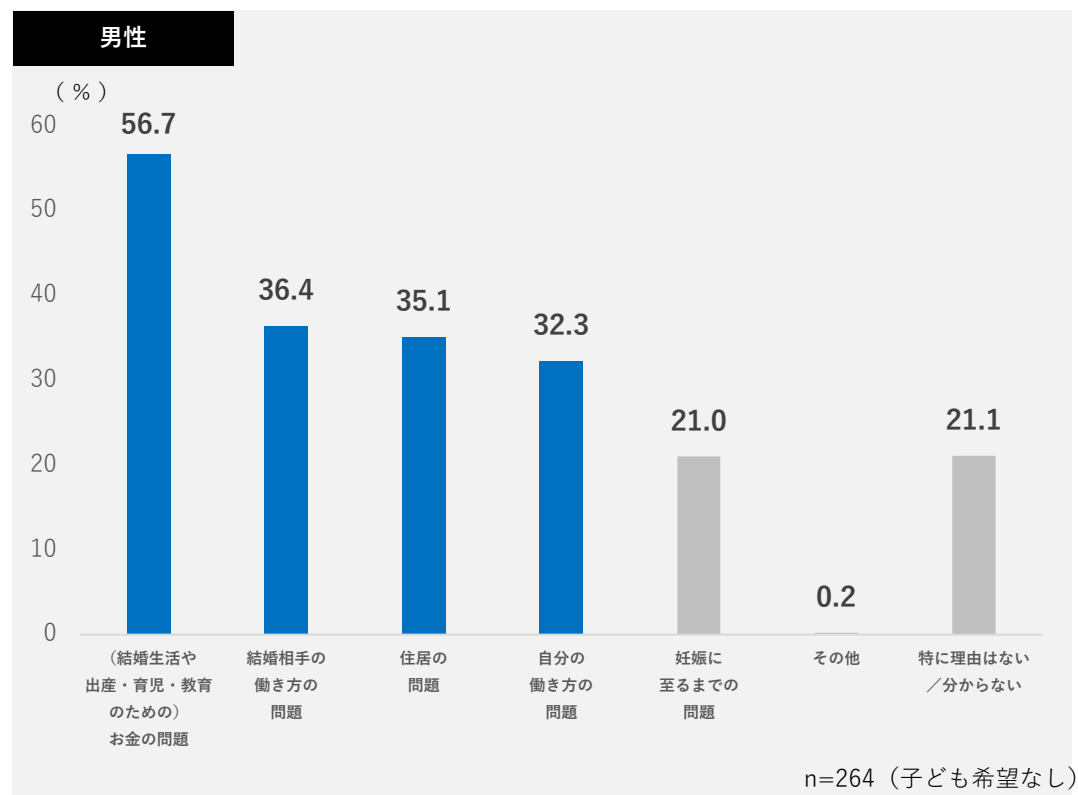
子育てのハードルは、**お金の問題が56.7%**と最も高い。
次いで、**結婚相手の働き方（36.1%）**、**自分の働き方の問題（35.9%）**の順になっている。

■あなたは、いずれ子どもを授かるとしたらどのようなハードルがあると思いますか？



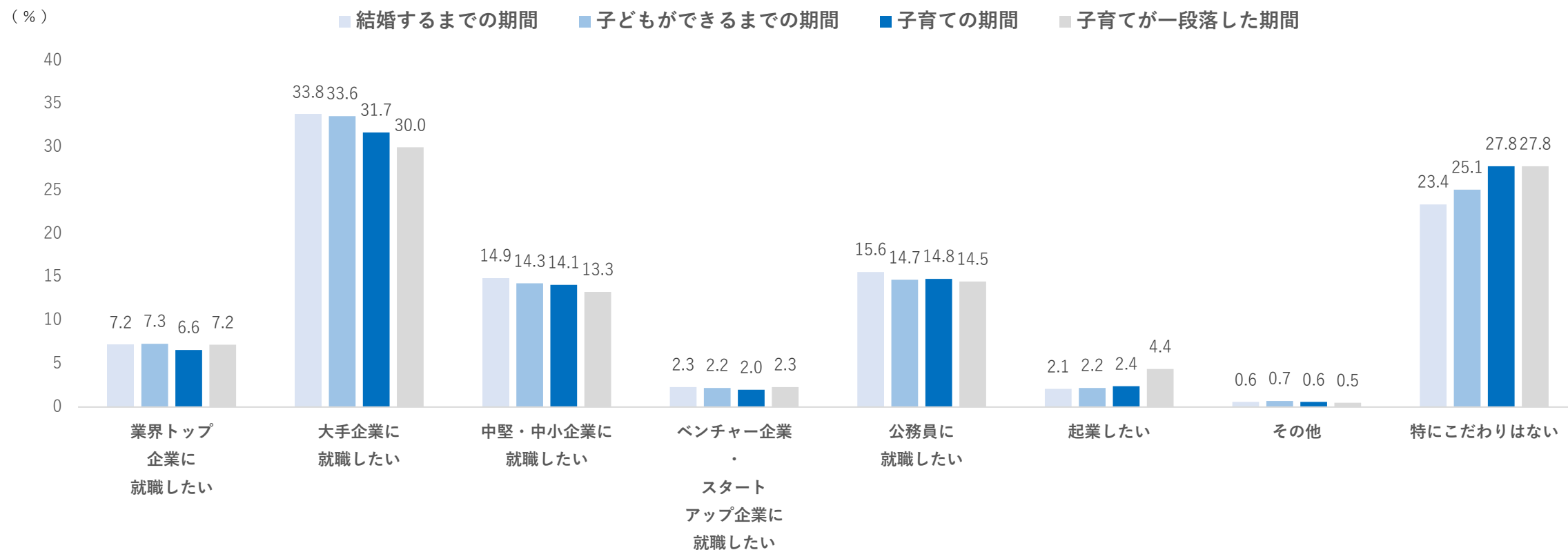
男性、女性ともに子育てのハードルは、お金の問題がもっとも高い。
次いで男性は結婚相手の働き方（36.4%）、住居（35.1%）、女性は
自分の働き方（39.7%）、結婚相手の働き方（35.8%）の順になっている。

■あなたは、いずれ子どもを授かるとしたらどのようなハードルがあると思いますか？



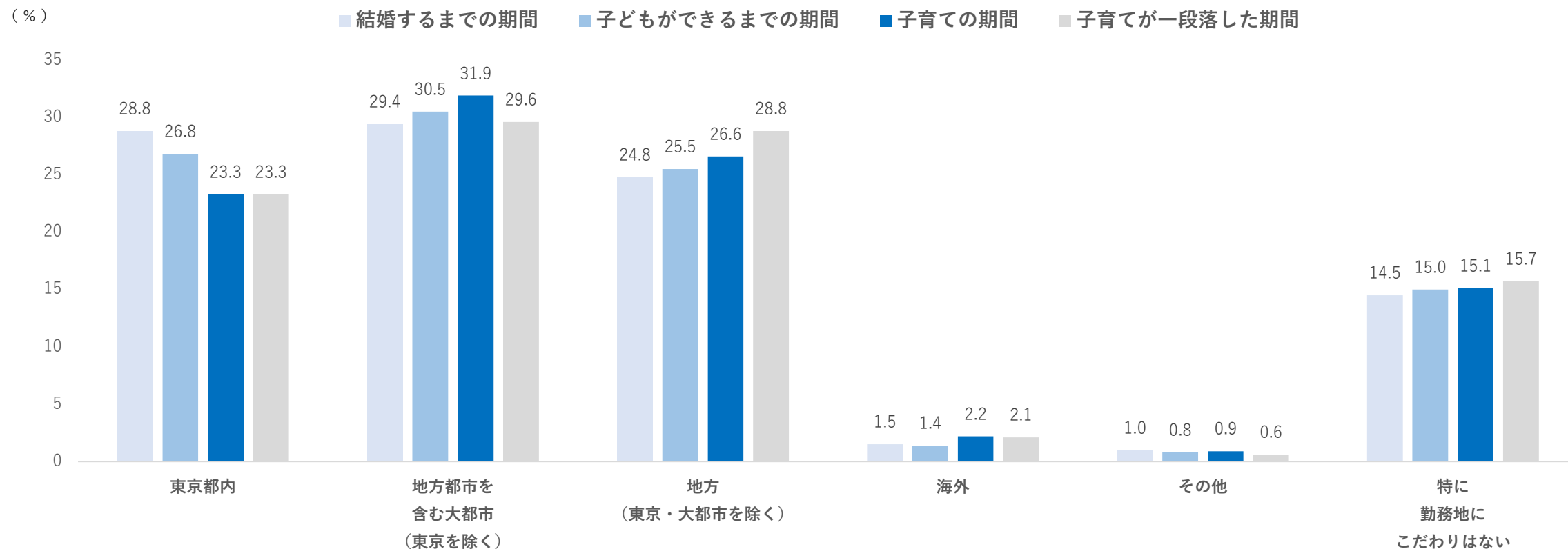
企業規模の希望は、ライフステージの違いによる差はなく、各期間いずれも「大手企業」と「こだわりのない」が多い。

■あなたは、現在、どのような規模の企業に就職したいですか？



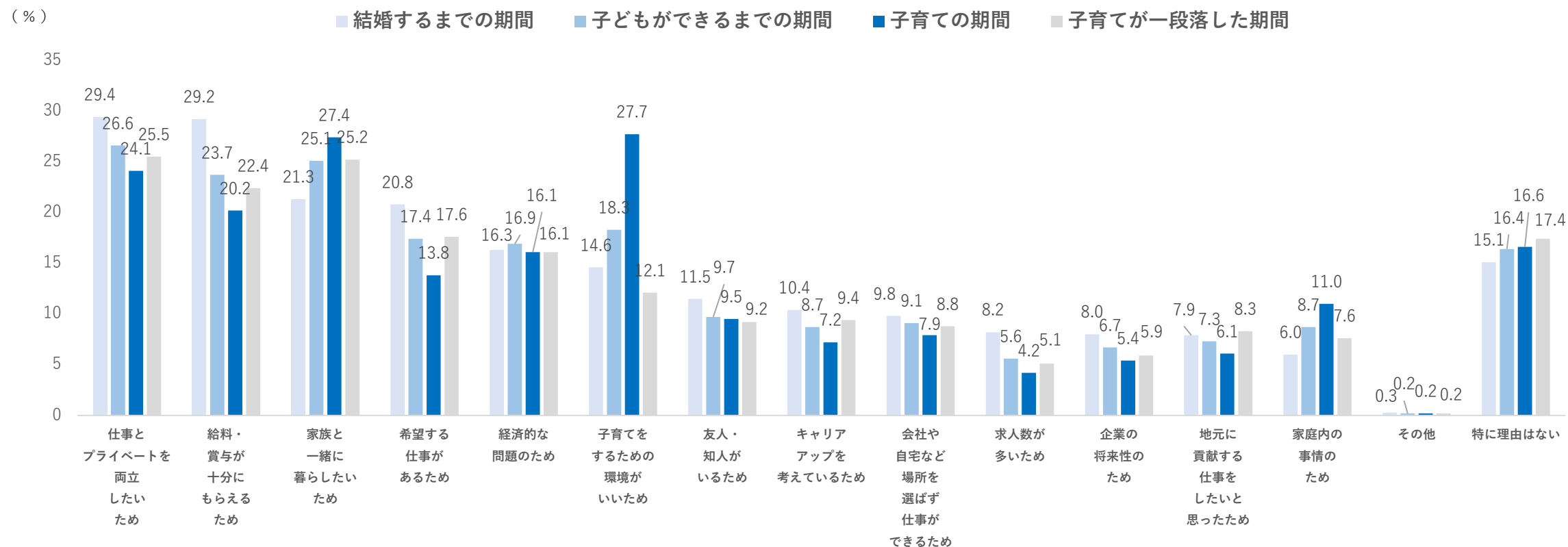
子育て期間、東京都内の勤務を希望する方は、やや減少傾向。
一方、地方都市や地方を希望する方は、やや増加傾向。

■あなたは、現在、どのような場所にある企業に就職したいですか？



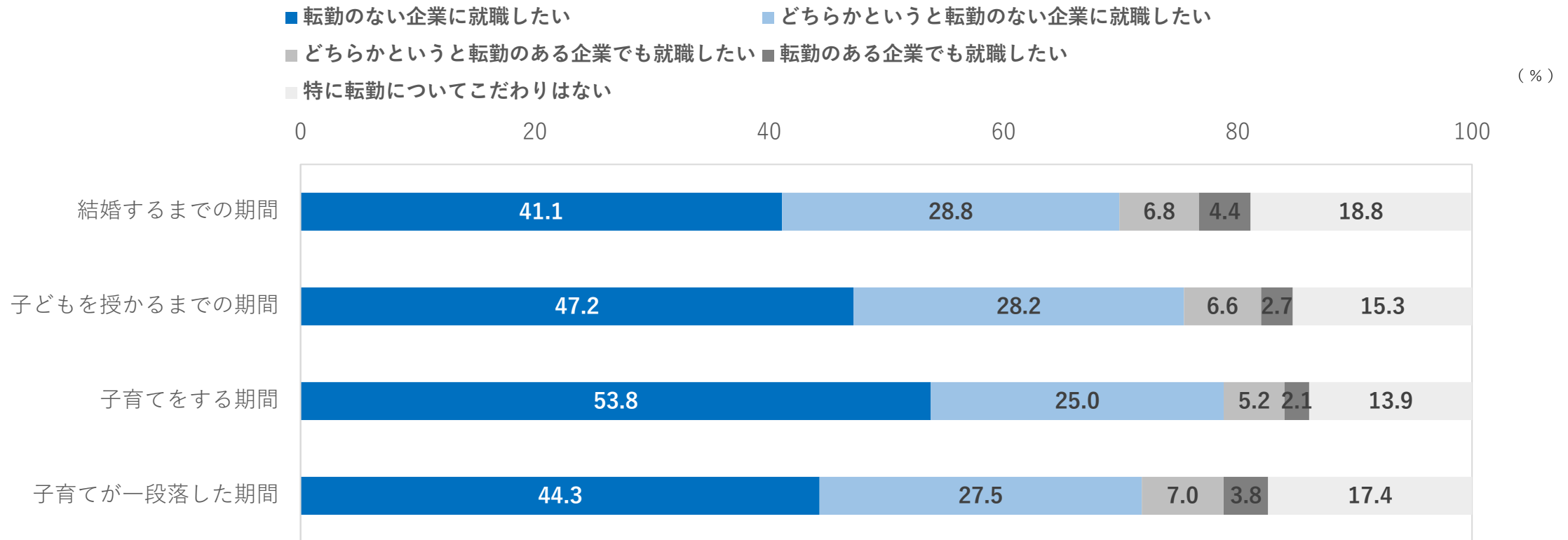
結婚するまでは、仕事とプライベートの両立、給料・賞与を重視。
一方、子育て期間は、子育ての環境、家族との暮らしを重視。

■前問で企業規模や勤務地の希望についてお伺いしましたが、
それぞれ選んだ理由としてあてはまるものはどちらですか？



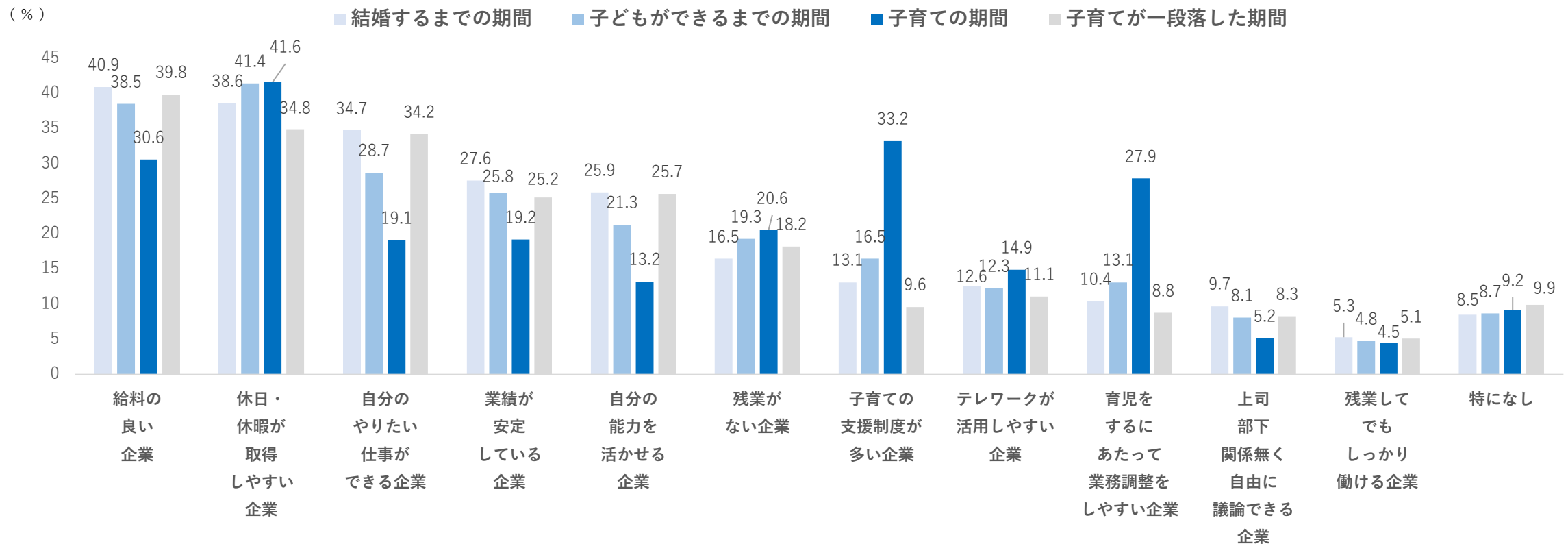
子育て期間は、転勤したくない意識が高まる。
一方、子育てが一段落すると、転勤したくない意識が低下する。

■ あなたは、就職した後の転勤についてどのように考えていますか？



結婚するまでは、給料が良い、
休日・休暇を取得しやすい企業を希望する傾向がある。
一方、子育て期間は、休日・休暇の取得しやすさや、
子育ての支援制度が多い企業を希望する傾向がある。

■あなたは、就職先を決めるにあたって、行きたい企業のイメージはありますか？



若年層が行きたくない企業のイメージは、結婚するまでの期間は、給料が悪い企業が最も多い。一方、子育て期間は、休日・休暇が取得しづらい企業が最も多い。

■ あなたは、就職先を決めるにあたって、行きたくない企業のイメージはありますか？

